

公益社団法人日本空手協会第68回全国空手道選手権大会予選兼

第47回 山梨県空手道選手権大会



空手道

令和8年4月26日（日）

小瀬スポーツ公園武道館 第一武道場

主催 日本空手協会山梨県本部

主管 国中地区

ご挨拶



大会会長 山梨県本部会長

中島 克仁

第47回山梨県空手道選手権大会の開催にあたり、大会会長として一言ご挨拶申し上げます。

本日は、県内各地より多くの選手の皆様、並びに日頃よりご指導にご尽力されている先生方、そして選手を支えてこられたご家族の皆様にご参加いただき、このように盛大に本大会を開催できますことを、心より御礼申し上げます。

空手道は「礼に始まり礼に終わる」と言われる通り、単なる競技にとどまらず、相手を敬う心、自らを律する心を育む武道であります。日々の厳しい稽古の積み重ねは、技術の向上のみならず、人としての成長に大きく寄与するものであり、その歩みそのものが尊いものであります。

本大会は、皆様がこれまで積み重ねてこられた努力の成果を発揮する場であると同時に、仲間やライバルと出会い、互いに高め合う貴重な機会でもあります。選手の皆様におかれましては、勝敗の結果のみにとらわれることなく、一瞬一瞬に全力を尽くし、正々堂々とした試合を展開されることを期待しております。その経験は、必ずや今後の大きな糧となることでしょう。

また、本大会が子どもたちや若い世代にとって夢や目標を育む場となり、さらには山梨県における空手道の一層の発展につながることを心より願っております。

結びに、本大会の開催にあたりご尽力いただきましたすべての関係者の皆様に深く敬意と感謝を申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘と本大会の成功を祈念し、挨拶といたします。

ご挨拶



日本空手協会 山梨県本部 本部長

大会実行委員長 大村 耕一

第47回を数えます山梨県空手道選手権大会が、このように盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

また、本大会の開催にあたり、ご尽力いただきました大会関係者ならびに運営・設営に携わるすべての皆様に、心より厚く御礼申し上げます。

さて、世界は今、大きく変化し続けており、平和の尊さを改めて実感する日々が続いております。そのような時代だからこそ、私たちが学ぶ松濤館流空手道の教えは、より一層大切な意味を持つものと感じております。「空手に先手なし」そして「勝つ考えは持たず、負けぬ考えは必要である」これらの教えが示す通り、空手道は単なる勝敗を競うものではなく、自らを律し、心を磨き続ける修行の道であります。しかしながら、大会という場においては、この精神こそが結果に大きく影響するものであり、日頃の取り組みがそのまま表れる場でもあります。近年、自分の長所を伸ばすという考え方は広く浸透してまいりました。その一方で、日々の稽古の中で自分自身と真摯に向き合い、長所と短所の双方を客観的に見つめ、課題に取り組んでいく姿勢こそが、真の成長、そして上達への最も確かな道であると考えております。

本大会に出場される選手の皆さんが、これまでの努力の成果を存分に発揮し、一人ひとりが自分自身と向き合う貴重な機会となりますことを願っております。そして本大会が、選手の皆さんにとってさらなる飛躍の一步となりますことを心より祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

押忍